

特集1 本庁舎「新館」が完成

圃財産管理課
(25) 8112

10月9日(火) から一部業務開始

【新館の概要】
構造：鉄骨造3階建て
基礎：直接基礎
延床面積：4,296.86㎡

新館の基本コンセプト

『高島の豊かな自然をつなぐ
まぎぶりの拠点整備』

自然と人やまちをつなぎ、未来の高島を創出する開かれた新館

市民サービススペースを1階フロアに集約した施設構成で利便性に優れています。
また、新館と本館を渡り廊下でつなぐことで、連携しやすくします。

力強く、自然災害にも対応する新館

新館は、現行基準の最高レベルを有した耐震構造で、ライフラインが途絶しても持続できる、災害対策拠点にふさわしい施設です。
大規模地震や風水害などを想定した高度な防災拠点機能を備え、通常業務から、迅速に非常時体制を整えることができる建物性能を確保します。

地域の風土と人々の生活の関わりを大切に継承し、未来を支える新館

建築物の省エネルギー化を図るため、安曇川水系からの潤沢な地下水、卓越風、自然採光など地域特性を極力活用した環境技術を導入し、環境負荷や将来の維持管理コストを抑えます。

平成27年度から計画を進めてきました、市役所本庁舎新館（以下「新館」）が完成しました。これに伴い、市民の皆さんの利便性向上や、防災機能の一元化を図るため、現在分散している市役所機能を、平成31年5月までに、一か所に集約します。

【集約スケジュール】

引っ越し①

10月6日①～14日②
本館内にある35の部署が、一旦全て新館に引っ越します。
※今回の引っ越しによる電話番号の変更はありません。
◎平成31年4月までの新館内の部署配置は、4～5ページで紹介します。

本館改修工事

引っ越し①完了後、本館の改修工事を行います。
◎改修工事中の工事区域と駐車場は次ページをご覧ください。

引っ越し②

【平成31年4月末予定】
本館改修工事完了後、新館に仮移転していた23の部署が本館に引っ越します。

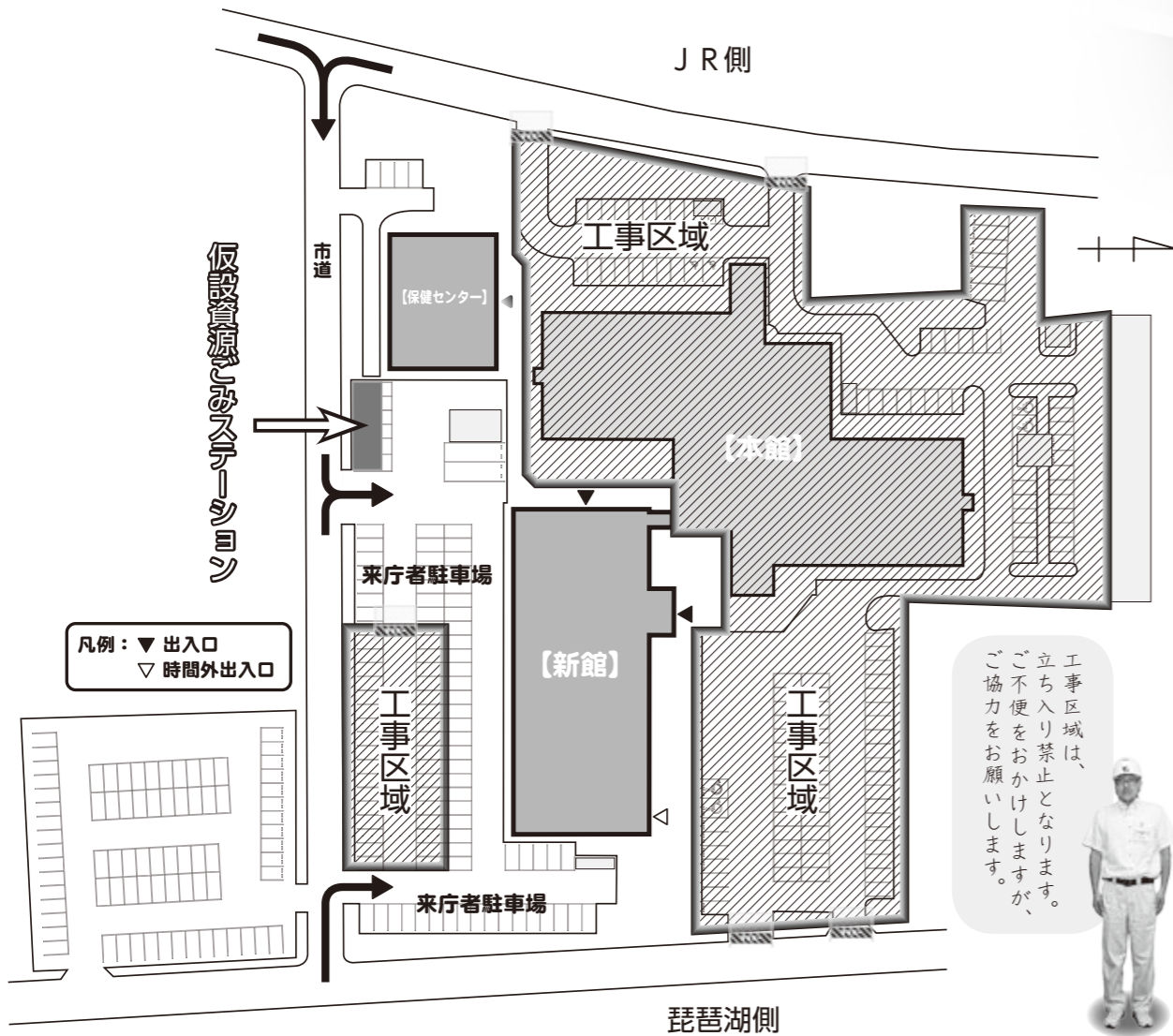
引っ越し③

【平成31年5月上旬予定】
現在安曇川にある都市建設部の各部署が新旭の庁舎に引っ越します。
◎全ての引っ越し完了後の各部署の配置は、今後の広報たかしまでお知らせします。

グランドオープン

【平成31年5月上旬予定】
引っ越し期間中、市民の皆さんをはじめ、多くの方には大変ご不便をおかけしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。

本館改修工事中の工事区域と駐車場のご案内





環境に配慮した
高効率空調機器やLED照明を整備

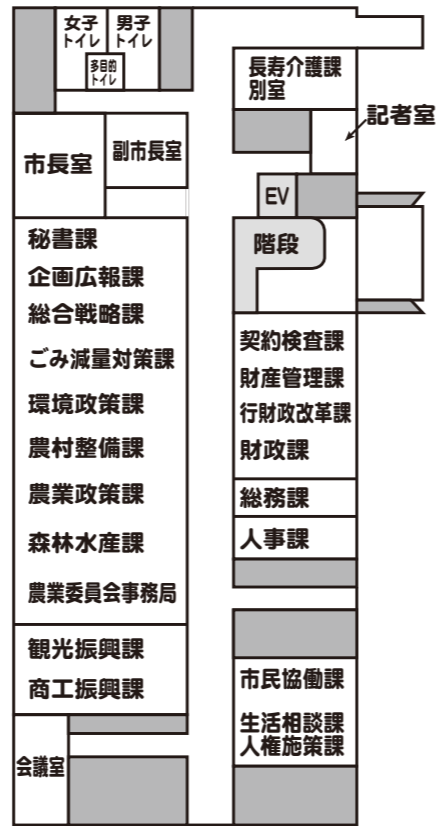
新館2階は、仮引越しで、来年4月までの間は、次の部署を配置します。

- 政策部
- 総務部
- 市民生活部（市民協働課・生活相談課・人権施策課）
- 環境部
- 農林水産部
- 商工観光部

今回は仮引越し

2階フロア配置図

10月15日(月)から業務開始



新館と本館をつなぐ
2階の渡り廊下

新館1階は、誰にでも『利用しやすく』かつ『分かりやすく』そして、迅速で親切な窓口対応を第一に考え、窓口部署の集約化を図っています。

皆さんの移動を最小限にするため、住民異動や戸籍関係の手続きに加え、結婚や出産、引越しなどのライフイベントに必要な手続きを、可能な限りひとつの窓口で完結できる『総合窓口』を設けています。

また、相談しやすい環境を整えた『福祉関係窓口』や、税の納付・申告などを受け付ける『税関係窓口』を設置しています。

総合窓口

新館部署配置図

平成31年4月までの

新館3階には、災害発生時の危険がせまるときや、市内に災害が発生し、応急対策をとる必要がある場合などに災害拠点となる『災害対策本部室』を配置します。

本部会議では、各地区本部（各支所）とテレビ会議システムを通じて、各地区の状況を把握し、即座に指示を出すことができます。また、4面のマルチディスプレイで、河川カメラの映像や気象に関する情報が確認できます。

災害対策本部室の向かい側には、災害警戒（対策）本部を支えるオペレーション室があり、災害警戒や対策にあたる各班や関係機関などが作業を行うスペースが設

庁舎から災害拠点へ



周囲の状況を確認しやすい災害対策本部室

置されています。なお、平常時には、移動間仕切り壁により4室に分割し会議室として利用可能です。



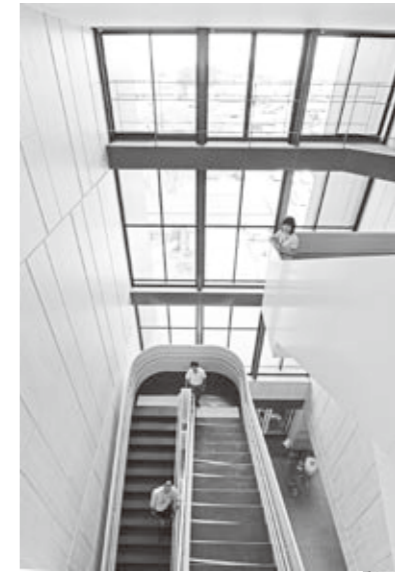
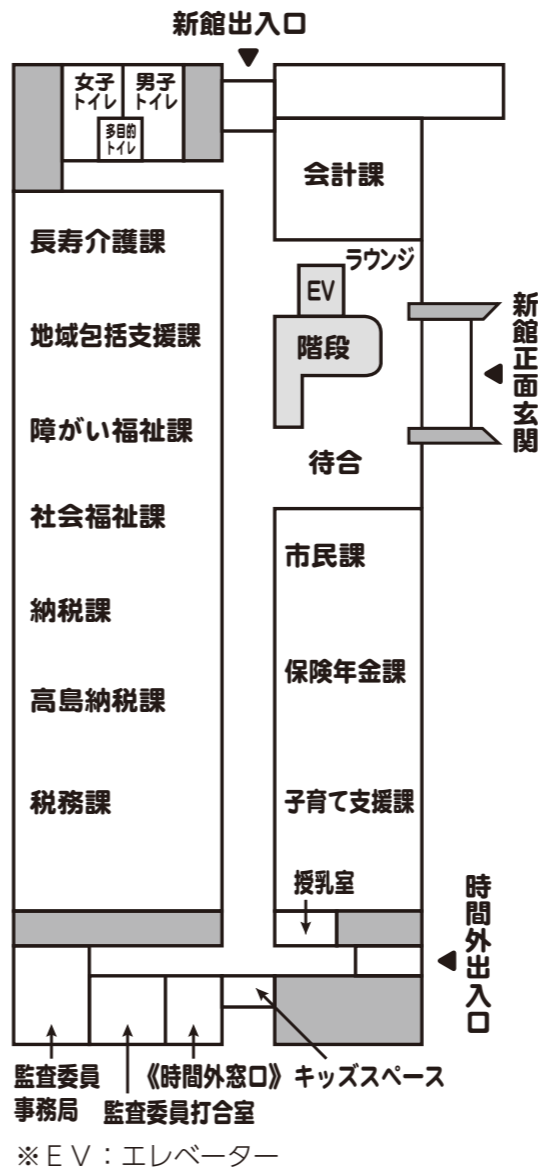
移動間仕切り壁で広さを調整できる会議室

臨時の議場として使用

本館3階の議場を改修するため、来年4月まで、議会の定例会や臨時会、各常任委員会などは、新館3階の会議室で開催します。

1階フロア配置図

10月9日(火)から業務開始



風が吹き抜け、木の香りがする心地よいエントランス



新館エントランスにふさわしい、広々とした吹抜空間で建物内の自然換気を促します。壁面には市内産材のヒノキを使用し、木の温もりを感じることができます。



部署の配置が一目で分かるオープンフロア

風の通り道

柱の少ないオープンフロア

新館の事務室は、フロア全体を有効に活用できるようにしており、フロア内に一体感を持たせ、開放的なオープンフロアにしています。